

第 2 期喜多方市総合戦略の効果検証 —令和 3 年度—

計画期間：令和 2 年度（2020 年度）～令和 6 年度（2024 年度）

企画政策部 企画調整課

1 概 要

「第2期喜多方市総合戦略」（以下、「総合戦略」という。）は、市の最上位計画「喜多方市総合計画」を基本的指針とし、各分野別計画や施策との整合を図りながら、市の特性・実情に応じた今後5年間の目標や施策の基本的方向、効果検証が可能な具体的施策を示すもの。

総合戦略の計画期間は、令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間としており、若い世代の働く場の確保や結婚・出産・子育てに関する希望の実現などを図ることで、人口減少問題を克服していくことを目標としている。

2 基本的な視点と新たな視点

総合戦略においては、「第1期喜多方市総合戦略」で示した基本的な視点（①～③）を引き継ぎ、更に国の基本方針で重点が置かれた新たな視点（④）を加えた4つの項目に重点を置いている。

①「しごと」の創生

「東京一極集中」や各地方への転出といった状況を踏まえ、本市に住み、働き、安心して楽しく生活したいと思う人を増やし、その希望をかなえられる社会環境の実現を目指す。

②「ひと」の創生

若い世代の転出超過を踏まえ、本市に安心して住み、働き、結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえられる社会環境の実現と将来を担う多種多様な人材や子どもたちの育成・確保の強化に取り組む。

③「まち」の創生

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を支えるため、本市での生活に快適さを実感し、安心して暮らせるような「まち」の活性化を図り、持続可能な地域社会実現を目指す。

④ 新たな視点（国の基本方針で重点が置かれた内容）

- ◆地方へのひと・資金の流れを強化する
- ◆新しい時代の流れを力にする
- ◆人材を育て活かす
- ◆民間と協働する
- ◆誰もが活躍できる地域社会をつくる
- ◆地域経営の視点で取り組む。

3 総合戦略の基本目標

「2 基本的な視点と新たな視点」をもとに、本市のまち・ひと・しごと創生の目指すべき将来の方向として、総合戦略では6つの基本目標を掲げ、それぞれの基本目標に連なる基本的方向及び具体的施策を定めている。

- 基本目標1 安定した雇用を創出する（しごと）
- 基本目標2 新しいひと・資金の流れをつくる（ひと）
- 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（ひと）
- 基本目標4 安心なくらしを守るとともに、周辺地域や民間との連携を図る（まち）
- 基本目標5 将来を担う多様な人材を育成・確保する（ひと）
- 基本目標6 将来を見据えた魅力的なまちをつくる（まち・ひと・しごと）

4 総合戦略の施策体系

基本目標	基本的方向	具体的施策
安定した雇用を創出する	(1)地域の特色を活かした足腰の強い農林業を推進する	①農畜産物の高品質化と生産性・収益性の向上による競争力の強化
		②経営感覚のある農業経営体を中心となった農業構造の確立
		③低コストで効率的な森林整備の推進
	(2)企業誘致を推進するとともに、商工業の経営環境や競争力を強化し、生産性・収益性を高める	①工業用地の整備と企業立地に対する支援
		②企業の生産性向上、経営基盤強化に対する強化
		③製造業・次世代産業の育成による競争力強化
		④商業の受注・販路拡大に対する支援
	(3)次世代の商工業の後継者づくりを支援し、新たな雇用の創出につなげる	①起業・創業に対する支援
		②商工業の後継者の育成・確保や事業承継に対する支援
	(4)地域資源を活かし地場産業の魅力・付加価値を向上させる	①喜多方産品の消費・販路拡大による所得の向上
新しいひと・資金の流れをつくる	(1)市外への流出を抑制し、定住を促進する	①市内定住の促進
		②若年層の市内定着の促進
	(2)住まい、仕事等の支援を通じ、本市への移住を促進する	①相談・支援体制の強化による本市への移住の促進
		②移住者に対する住まいや仕事の支援
	(3)魅力的な観光エリアづくりにより交流人口を増加させる	①観光資源の発掘・磨き上げとネットワーク化
		②グリーン・ツーリズムの一層の推進と広域連携の強化
	(4)関係人口の創出拡大や民間資金の還流を図る	③インバウンド対策の強化
		①多様な関わりを持つ人々との継続的な交流促進
産・子育ての希望をかなえる	(1)出会いから結婚・妊娠・出産・子どもの健やかな成長における切れ目のない支援を行う	②企業や個人による寄附・投資等による資金の流れの強化
		①結婚・妊娠・出産を希望している人々に対する支援
	(2)安心して子育てができる環境をつくる	②子どもの健やかな成長のための支援
		①親子を中心に様々な交流できる場の整備
		②子育て世代への支援
		③親子が安心して健やかに過ごせるための支援
周辺地域や民間との連携を図る	(1)安全・安心な地域社会をつくる	①防災・減災対策の推進
		②生活交通ネットワークの維持
		③空き家対策の推進
	(2)市民の健康づくりを強化する	①運動の習慣づけによる健康づくりの促進
		②健康意識の向上と予防医療体制の強化
		③地域包括ケアシステムの構築による介護・医療体制の充実・強化
	(3)地域のつながりを維持する	①市民が主役となった持続可能な地域づくり
		②NPOなどの地域づくりを担う組織や企業との連携
成・確保する	(4)人口減少・高齢化に対応した経済・生活圏を形成する	①企業間の広域連携に対する支援
		②自治体の広域連携の推進
将来を担う多様な人材を育ちをつくる	(1)不足する人材の育成・確保と市内定着を促進する	①地方創生の基盤を支える人材の掘り起こし・育成・支援
	(2)将来を担う子どもたちの育成を強化する	①夢に向かい、変化する時代を生き抜く力を身に付けるための教育
		②本市の歴史、風土、文化等に関する学びを通じた「喜多方人」の育成
	(1)新たな時代の流れを力にする	①Society 5.0の実現に向けた技術の活用
将来を見据えた魅力的なまちをつくる	(2)誰もが活躍できる地域社会をつくる	②SDGsを原動力とした地方創生
		①誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現
		②外国人を受け入れやすい環境の整備と多文化共生の推進

5 本市の現状

(1) ランキング

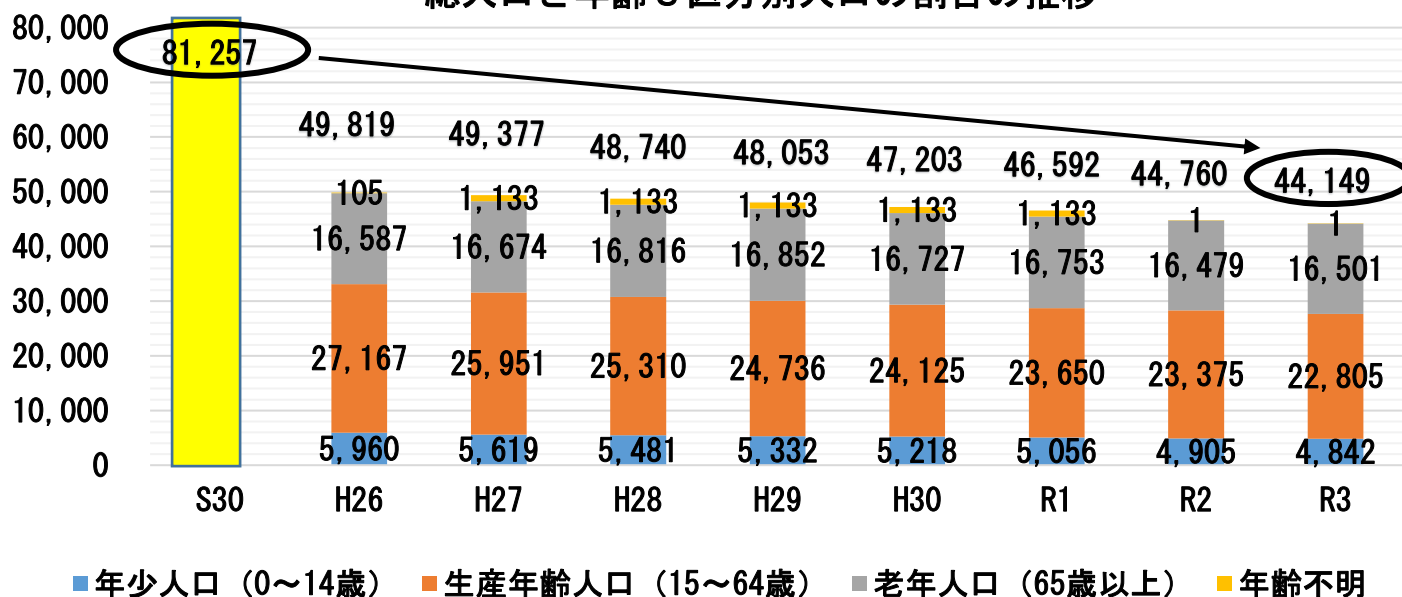
本市はさまざまなランキングにおいて順位を獲得。特に産業面（観光や農業）では全国と比較して上位となっており、喜多方ラーメンや米、酒といった特産品や「日中線しだれ桜木」、「三ノ倉高原ひまわり畑」といった観光地が広く認識されている。

No.	ランキング名	順位
①	市町村魅力度ランキング 2019 (出典：ブランド研究所)	県内第2位
②	ご当地グルメ認知度ランキング 2019 (出典：ブランド研究所)	全国第2位
③	食事がおいしい市町村ランキング 2020 (出典：ブランド研究所)	全国第4位
④	そば作付面積ランキング 2020 (出典：農林水産省)	全国第4位
⑤	水稲作付ランキング 2020 (出典：農林水産省)	県内第2位
⑥	全国の「みんなが行ってみたい」桜名所・お花見ランキング 2021・2022 (出典：ウォーカープラス)	全国第1位

(2) 人 口

市の人口は、昭和30年（1955年）の国勢調査人口81,257人（旧5市町村合計）をピークに減少。特に年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）については減少し続けており、人口減少が進めば、あと数年で昭和30年の人口の約半分になることが予測される。

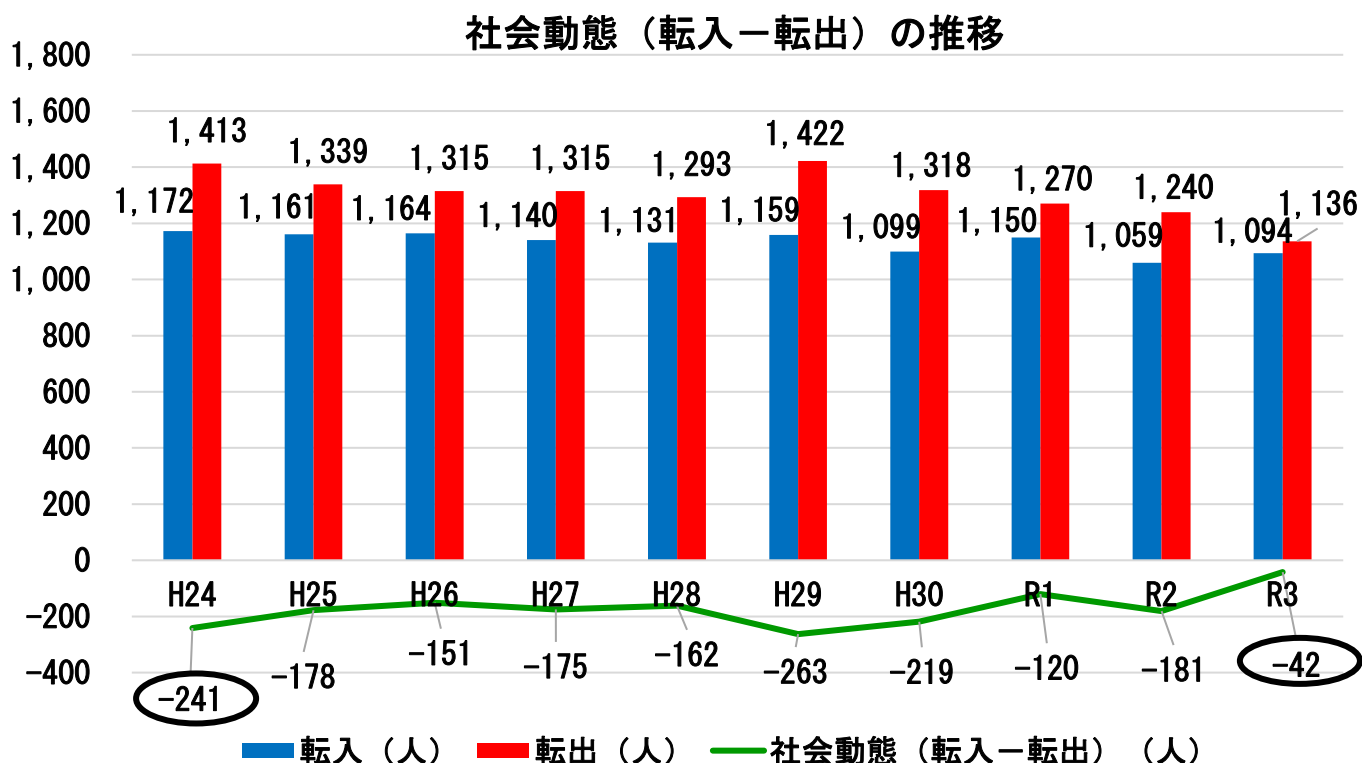
総人口と年齢3区分別人口の割合の推移



出典：福島県現住人口（各年10月1日現在）

(3)社会動態

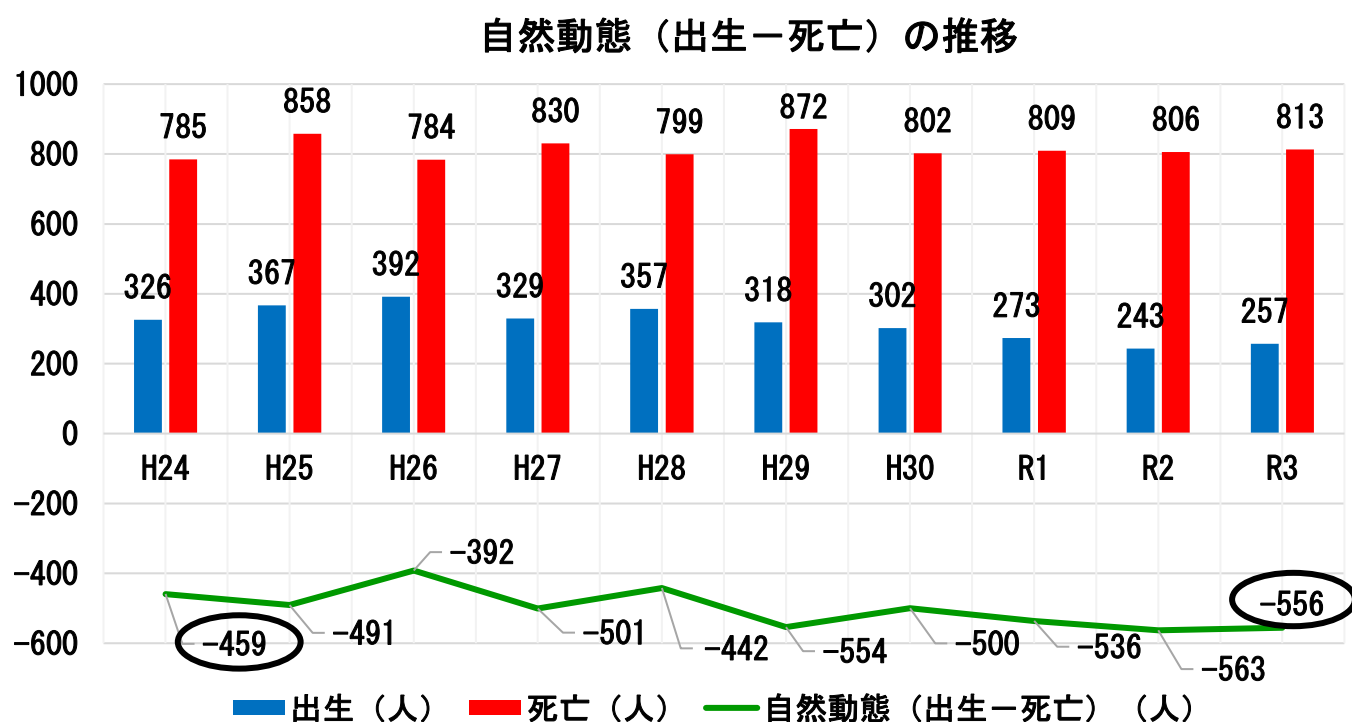
転入者数は平成24年からほぼ横ばいで、転出者数はやや減少傾向。社会動態（転入－転出）については増加傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の影響が今後も懸念される中、本市に人が残り、持続可能な地域社会を形成していくことが必要。



出典：福島県現住人口（各年1年間の合計値）

(4)自然動態

出生数はここ数年減少傾向にあり、死亡者数はほぼ横ばい。自然動態（出生－死亡）については減少傾向となっており、子どもを安心して産み育てることができる環境づくりが必要。

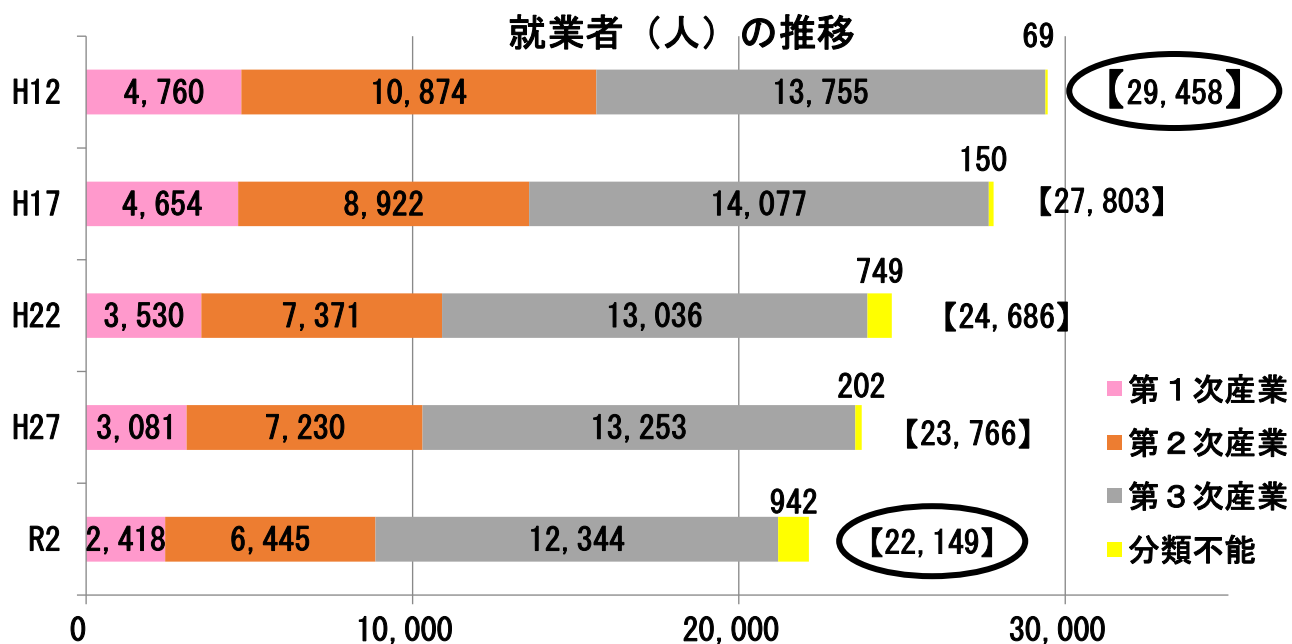


出典：福島県現住人口（各年1年間の合計値）

(5)就業者

就業者数は年々減少傾向にあり、特に第1、2次産業は平成12年の数値に対し、令和2年の数値で約4～5割減少している状況。近年は、若い世代が高校や大学を卒業し、首都圏を中心に就職することが多いほか、農業や商店街等の担い手・後継者の確保は喫緊の課題。

- ・第1次産業 … (主なもの) 農業、林業、漁業
- ・第2次産業 … (主なもの) 製造業、鉱業、建設業
- ・第3次産業 … (主なもの) 金融業、運輸業、情報通信業、サービス業、教育



出典：国勢調査

こうした本市の現状から、地域の活力低下を防ぐ・向上させていく取組を講じていくことが必要

6 効果検証の手法について

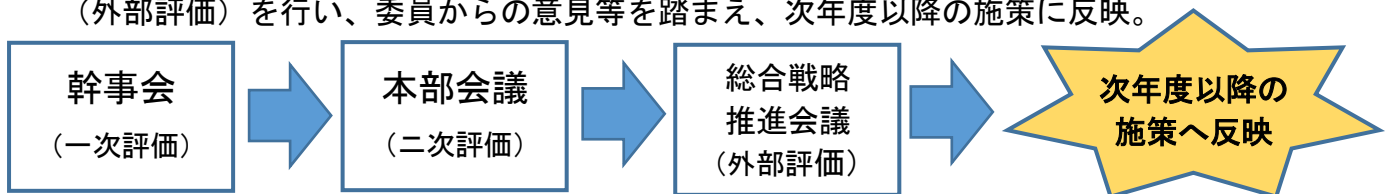
(1)効果検証の趣旨

総合戦略の効果的・効率的な推進のためには、「第2期喜多方市総合戦略」の各基本目標における数値目標とKPIの実績把握や進捗状況について評価・検証を行い、必要な改善や見直しを図っていくため、PDCAサイクルを確立することを必要としている。



(2)効果検証の手順

- ①初めに庁内会議（幹事会）にて評価・検証（一次評価）を行い、達成（進捗）状況の確認や今後の方向性等について整理。
- ②その後、庁内会議（本部長会議）にて評価・検証（二次評価）を行い、達成（進捗）状況の確認や今後の方向性等について整理をし、市としての方針を固める。
- ③庁内会議を経て、外部有識者等で構成される会議（総合戦略推進会議）にて評価・検証（外部評価）を行い、委員からの意見等を踏まえ、次年度以降の施策に反映。



(3)評価の考え方

- ①初期値（平成30年度）と目標値（令和6年度）、実績値（当該年度）から進捗率を算出。
※1つの指標に対し、数値が複数あるものについては進捗率を按分。
- ②計画期間が5年間であるため、進捗状況を令和2年度は20%以上、令和3年度は40%以上のように一定のライン（基準）を設ける。（今回は令和3年度のため、40%ライン）
- ③進捗率、ラインから下記区分にて評価を行う。
※「順調に推移」しているものにはグラフ上に「★」を表記。

【進捗率、基準の算出方法】

$$\text{《進 捗 率》} = \frac{(\text{実績値} - \text{初期値})}{(\text{目標値} - \text{初期値})} \times 100$$

$$\text{《40\%ライン》} = \left\{ \frac{(\text{目標値} - \text{初期値})}{5} \right\} \times 2 + \text{初期値}$$

【令和3年度評価区分】

順調に推移	進捗率が40%以上
努力が必要	進捗率が40%未満
—	進捗率が不明（実績値の把握が不可など）

7 令和3年度における数値目標及びKPIの進捗状況

各基本目標における数値目標とKPIは、全体で61指標あり、そのうち、「順調に推移」が26指標（42.6%）、「努力が必要」が29指標（47.5%）となっている。

基本目標		順調に推移 (進捗率 40%以上)	努力が必要 (進捗率 40%未満)	— (進捗率が不明)	計
1	安定した雇用を創出する (しごと)	4 (28.6%)	8 (57.1%)	2 (14.3%)	14
2	新しいひと・資金の流れ をつくる (ひと)	7 (58.3%)	5 (41.7%)	— (—)	12
3	若い世代の結婚・出産・ 子育ての希望をかなえる (ひと)	4 (57.1%)	— (—)	3 (42.9%)	7
4	安心なくらしを守るとと もに、周辺地域や民間と の連携を図る (まち)	5 (31.2%)	10 (62.5%)	1 (6.3%)	16
5	将来を担う多様な人材を 育成・確保する (ひと)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	— (—)	6
6	将来を見据えた魅力的な まちをつくる (まち・ひと・しごと)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	— (—)	6
全 体		26 (42.6%)	29 (47.5%)	6 (9.9%)	61

8 令和3年度の効果検証結果（総括）

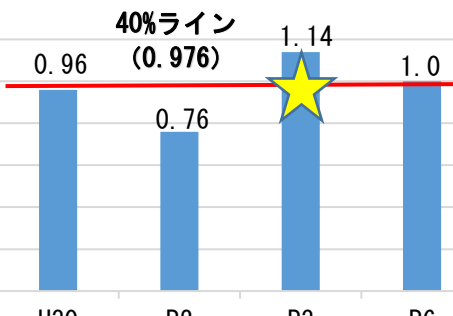
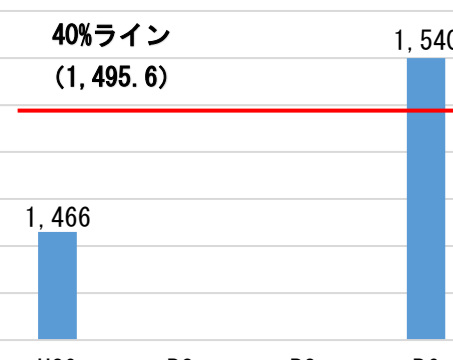
- ・総合戦略に掲げる人口減少問題を克服していくという点では、数値目標「社会動態（転入－転出）」のほか、移住・定住分野の指標に大きな進捗が見られた。
- ・一方で、数値目標「市内観光客入込数」のほか、農業や観光、保健分野の指標は減少傾向にあり、今後もこうした分野の事業に力を入れていく必要がある。
- ・また、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、各種イベント等の中止や縮小が余儀なくされる中、市としてウィズコロナ・ポストコロナを見据えたまちづくりを進めるため、本市を取り巻く社会情勢等を把握し、各種事業の推進に努めていく必要がある。

9 各基本目標における効果検証

基本目標1 安定した雇用を創出する（しごと）

- ・産業の振興を図り、安定した雇用の場と所得を確保することを持続可能な地域社会をつくる上で重要課題としている。
- ・豊富な地域資源を活用しながら、「付加価値の高い産業振興」や「地域経済活動の維持」、「新たな雇用の創出にとって重要な企業や担い手等の確保」、「事業所支援」に取り組むことにより、足腰の強い地域産業構造の推進と就業機会の創出・拡大を目指していく。

●数値目標の進捗内容

数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
年間有効求人倍率 (ハローワーク喜多方管内)	0.96	1.14	1.0以上	450.0%	商工課									
《現状または課題》 新型コロナウイルス感染症の影響により、有効求人倍率が一時大きく低下したが、その後回復傾向にあり、1倍を超える状況が継続している現状。 《目標達成に向けた取組》 雇用相談センターでの就職相談や職業訓練支援による就職支援、事業所に対する各種支援などを継続していく。			年間有効求人倍率 (ハローワーク喜多方管内) 40%ライン (0.976)  <table><thead><tr><th>年度</th><th>有効求人倍率</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>0.96</td></tr><tr><td>R2</td><td>0.76</td></tr><tr><td>R3</td><td>1.14</td></tr><tr><td>R6</td><td>1.0</td></tr></tbody></table>			年度	有効求人倍率	H30	0.96	R2	0.76	R3	1.14	R6
年度	有効求人倍率													
H30	0.96													
R2	0.76													
R3	1.14													
R6	1.0													
数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
市内総生産額	1,466億円 (H28)	—	1,540億円	—	商工課									
《現状または課題》 経済や社会情勢の影響を受けやすい第2、3次産業が、どのように安定して成長を続けるかが課題。 《目標達成に向けた取組》 企業誘致による生産額と雇用の拡大を図るとともに、経営基盤強化や人材育成、生産性の向上等に対する取組を支援し、外的要因に左右されにくい経営体質への転換を促していく。			市内総生産額（億円） 40%ライン (1,495.6)  <table><thead><tr><th>年度</th><th>市内総生産額（億円）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>1,466</td></tr><tr><td>R2</td><td>—</td></tr><tr><td>R3</td><td>—</td></tr><tr><td>R6</td><td>1,540</td></tr></tbody></table>			年度	市内総生産額（億円）	H30	1,466	R2	—	R3	—	R6
年度	市内総生産額（億円）													
H30	1,466													
R2	—													
R3	—													
R6	1,540													

※「市内総生産額」は福島県市町村民経済計算における数値であり、当該年度（R3）の数値が出ていないため、実績値は「—」としている。（最新値は1,452億円（R1））

● K P I の進捗内容

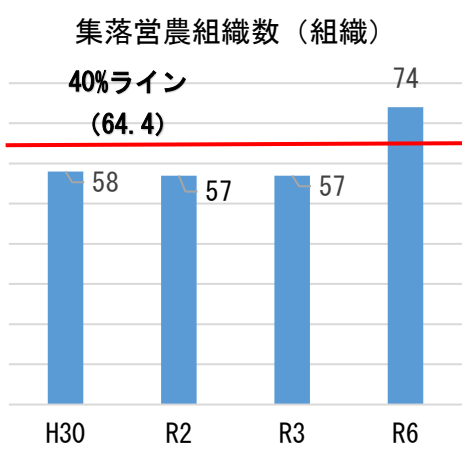
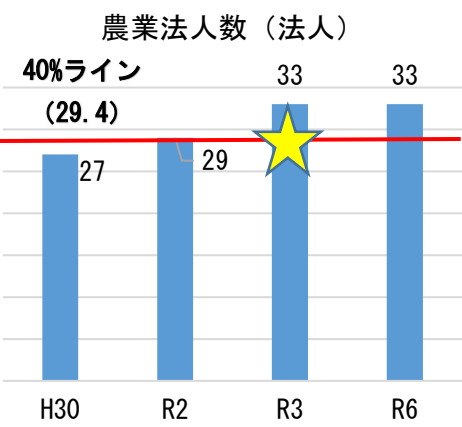
基本的方向(1) 地域の特徴を活かした足腰の強い農林業を推進する

具体的施策① 農畜産物の高品質化と生産性・収益性の向上による競争力の強化

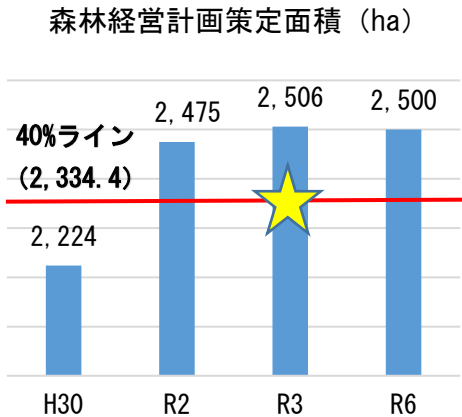
K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名										
園芸作物の販売額	12.4 億円	9.8 億円	14.8 億円	▲108.3%											
《現状または課題》 施設栽培による生産拡大等により販売額は微減にとどまってきたが、新型コロナウイルスの影響等により特にキュウリの単価が低調だったことに伴い、販売額が大幅に減少している。引き続き、優良産地として維持発展を図っていくためには、若手農業者等による園芸作物の生産拡大や施設化の進展により生産基盤を強化していくことが課題。 《目標達成に向けた取組》 収益性の高い園芸作物の生産拡大や水稲との複合経営化とともに、高品質で安定した収量が確保できる施設化や栽培体系の導入を推進し、競争力のある産地の形成を進めていく。			園芸作物の販売額（億円） <table><caption>園芸作物の販売額（億円）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>販売額</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>12.4</td></tr><tr><td>R2</td><td>11.7</td></tr><tr><td>R3</td><td>9.8</td></tr><tr><td>R6</td><td>14.8</td></tr></tbody></table> 40%ライン (13.36)		年度	販売額	H30	12.4	R2	11.7	R3	9.8	R6	14.8	農業振興課
年度	販売額														
H30	12.4														
R2	11.7														
R3	9.8														
R6	14.8														

具体的施策② 経営感覚のある農業経営体を中心となった農業構造の確立

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名										
認定農業者数	541 人	490 人	625 人	▲60.7%											
《現状または課題》 高齢化や後継者不足を理由に再認定申請を行わない者の増加等により、認定農業者数は令和元年度より減少に転じているものの、1経営体当たりの経営規模は増加傾向にあることから、さらに担い手への農地の集積・集約化を進め、他産業並みの所得が確保できる担い手を中心となる農業構造へ転換させていくことが課題。 《目標達成に向けた取組》 認定農業者になっていない人・農地プランに位置付けられた中心経営体や青年等就農計画の期間満了を迎える認定新規就農者を対象に認定農業者への誘導とともに、計画作成支援を図る。また、他産業並みの所得が確保できるよう農業経営の収益力強化に向けた支援を進めていく。			認定農業者数（人） <table><thead><tr><th>年度</th><th>認定農業者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>541</td></tr><tr><td>R2</td><td>501</td></tr><tr><td>R3</td><td>490</td></tr><tr><td>R6</td><td>625</td></tr></tbody></table> 40%ライン (574.6)		年度	認定農業者数	H30	541	R2	501	R3	490	R6	625	農業振興課
年度	認定農業者数														
H30	541														
R2	501														
R3	490														
R6	625														

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名
集落営農組織数	58 組織	57 組織	74 組織	▲6.3%	農業振興課
≪現状または課題≫ 近年は集落営農の組織化に向けた動きが鈍化しており、地域農業が目指す将来像について地域ぐるみでの話し合いを促していくことが課題。 ≪目標達成に向けた取組≫ 市内外の優良事例等を広く周知しながら、集落営農等の組織化につながる人・農地プランの作成の推進とともに、市独自の集落営農等の組織化や機械の共同利用への支援等を行うことにより、集落営農等の組織化を進めていく。			集落営農組織数（組織） 40%ライン (64.4) 		
K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名
農業法人数	27 法人	33 法人	33 法人	100.0%	農業振興課
≪現状または課題≫ 県農業経営相談所と連携した支援を通じて個人経営の法人化や複数戸による法人化が進み、農業法人数は順調に増加している現状。 ≪目標達成に向けた取組≫ 引き続き、専門家派遣等を行う県の関係機関と連携しながら、農業経営の法人化を志向する者に対して支援を行うことにより農業経営の法人化を進めていく。			農業法人数（法人） 40%ライン (29.4) 		

具体的施策③ 低コストで効率的な森林整備の推進

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
森林経営計画策定面積 (累計)	2,224ha	2,506ha	2,500ha	102.2%	農山村振興課									
≪現状または課題≫ 所有者不明森林や境界不明確森林によって、森林整備が進まない状況があるため、どのように所有者を特定し、境界の明確化を図っていくかが課題。 ≪目標達成に向けた取組≫ 森林経営管理制度の取組を進め、林業に適した森林を林業事業体等に森林管理を委託することによって、計画策定面積の拡大につなげていく。			森林経営計画策定面積 (ha)  <table><thead><tr><th>年度</th><th>面積 (ha)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>2,224</td></tr><tr><td>R2</td><td>2,475</td></tr><tr><td>R3</td><td>2,506</td></tr><tr><td>R6</td><td>2,500</td></tr></tbody></table>			年度	面積 (ha)	H30	2,224	R2	2,475	R3	2,506	R6
年度	面積 (ha)													
H30	2,224													
R2	2,475													
R3	2,506													
R6	2,500													

基本的方向(2) 企業誘致を推進するとともに、商工業の経営環境や競争力を強化し、生産性・収益性を高める

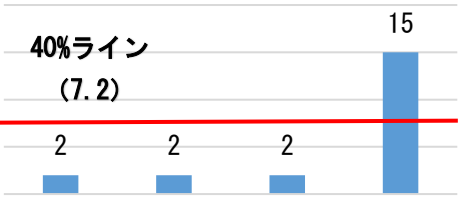
具体的施策① 工業用地の整備と企業立地に対する支援

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名									
工場新設・増設企業数 (累計)	8 社	10 社	26 社	11.1%	商 工 課									
《現状または課題》 新型コロナウイルス感染症の影響により企業訪問の機会が減少したが、喜多方綾金工業団地に興味を示す企業も多く、販売できる区画が少なくなっている現状。 《目標達成に向けた取組》 今後も継続して企業訪問を実施するとともに、令和4年度は、喜多方綾金工業団地の第二工区を造成する。				工場新設・増設企業数(社) <table><caption>工場新設・増設企業数(社)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>H30</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R6</th></tr></thead><tbody><tr><td>企業数</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>26</td></tr></tbody></table> 40%ライン (15.2)		年度	H30	R2	R3	R6	企業数	8	9	10
年度	H30	R2	R3	R6										
企業数	8	9	10	26										

具体的施策② 企業の生産性向上、経営基盤強化に対する支援

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
「喜多方市工業振興支援制度」活用企業数 (累計)	129 社	161 社	250 社	26.4%	商工課									
《現状または課題》 支援制度を活用する企業が大手企業や例年同じ企業であることから、さらに多くの企業に活用してもらえるよう周知を図っていく必要がある現状。			「喜多方市工業振興支援制度」活用企業数（社） <table><caption>「喜多方市工業振興支援制度」活用企業数(社)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>H30</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R6</th></tr></thead><tbody><tr><td>企業数</td><td>129</td><td>146</td><td>161</td><td>250</td></tr></tbody></table> 40%ライン (177.4)			年度	H30	R2	R3	R6	企業数	129	146	161
年度	H30	R2	R3	R6										
企業数	129	146	161	250										
《目標達成に向けた取組》 市ホームページやメーリングリストによる周知のほか、パンフレット等を活用し、企業訪問時に周知を図っていく。														

具体的施策③ 製造業・次世代産業の育成による競争力強化

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名														
大学研究機関等への相談 仲介企業数及び企業間連携 相談支援企業数（累計）	2 件	2 件	15 件	0.0%	商 工 課														
《現状または課題》 市内企業から大学や研究機関等に対する相談等はなく、市内企業間の取引や業務内容について知らない企業が多い現状。 《目標達成に向けた取組》 企業訪問により、企業の課題等の把握に努め大学等への相談やものづくり企業ガイドブックを活用し、市内企業間の連携を促していく。			大学研究機関等への相談仲介 企業数及び企業間連携相談支 援企業数（件）  <table><caption>大学研究機関等への相談仲介企業数及び企業間連携相談支援企業数（件）</caption><thead><tr><th>期</th><th>H30</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R6</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>15</td></tr><tr><td>目標値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>7.2</td></tr></tbody></table>			期	H30	R2	R3	R6	実績値	2	2	2	15	目標値	-	-	-
期	H30	R2	R3	R6															
実績値	2	2	2	15															
目標値	-	-	-	7.2															

具体的施策④ 商業の受注・販路拡大に対する支援

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名
商業売上額 (卸・小売業)	597 億円 (H28)	—	543 億円	—	商 工 課
《現状または課題》 人口減少や消費行動の変化により、地元小売店における売上げは減少傾向が続いており、また、後継者不足による廃業も増加している現状。			商業売上額（卸・小売業） （億円） 597 40%ライン (575.4) 543 H30 R2 R3 R6		
《目標達成に向けた取組》 あきない力向上支援事業による支援を継続していくほか、事業承継や人流を増やすための商店街の活性化に向けた取組に力を入れていく。					

※「商業売上額（卸・小売業）」は経済センサス活動調査における調査結果であり、 初期値（H28）が最新であるため、令和3年度の実績値は「—」としている。

基本的方向(3) 次世代の商工業の後継者づくりを支援し、新たな雇用の創出につなげる
 具体的施策① 起業・創業に対する支援

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名									
起業・創業件数 (累計)	77 件	115 件	137 件	63.3%	商 工 課									
《現状または課題》 平成 26 年度の創業支援等事業計画の策定以降、着実に創業者が輩出されている現状。 《目標達成に向けた取組》 創業者を増やすことによる地域活性化を目指し、創業しやすい環境を整えるべく、制度の周知やサポートに努め、支援していく。			起業・創業件数 (件) <table><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>77</td></tr><tr><td>R2</td><td>103</td></tr><tr><td>R3</td><td>115</td></tr><tr><td>R6</td><td>137</td></tr></tbody></table> 40%ライン (101)			年度	件数	H30	77	R2	103	R3	115	R6
年度	件数													
H30	77													
R2	103													
R3	115													
R6	137													

具体的施策② 商工業の後継者の育成・確保や事業承継に対する支援

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課 名									
商工業の後継者数	38 人	32 人	57 人	▲31.6%	商 工 課									
《現状または課題》 会津喜多方商工会議所青年部、きたかた商工会青年部の部員うち、後継者とされる人数をカウントしているが、後継者とともに会員数も減少しており、商工業者の弱体化が課題。 《目標達成に向けた取組》 事業承継の機運を高めるとともに、商工団体や組合団体の活動を積極的に支援していく。			商工業の後継者数（人） <table><caption>商工業の後継者数（人）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>38</td></tr><tr><td>R2</td><td>40</td></tr><tr><td>R3</td><td>32</td></tr><tr><td>R6</td><td>57</td></tr></tbody></table> 40%ライン (7.2)			年度	人数	H30	38	R2	40	R3	32	R6
年度	人数													
H30	38													
R2	40													
R3	32													
R6	57													

基本的方向(4) 地域資源を活かし地場産業の魅力・付加価値を向上させる

具体的施策① 喜多方産品の消費・販路拡大による所得の向上

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
アグリチャレンジ支援 事業による新商品開発件数 (累計)	36 件	40 件	48 件	33.3%	農業 振興課									
＜＜現状または課題＞＞ 6次産業化への取組は新たな労力やリスク等が負担となり、取組者数は少ない状況にあることに加え、コロナ禍によりチャレンジ意欲が減退している現状。 ＜＜目標達成に向けた取組＞＞ 市独自の支援策であるアグリチャレンジ支援事業の継続的な実施と併せ、専門家派遣等を行う県の関係機関と連携しながら商品開発や販路開拓に向けた支援を行うことにより、農業の6次産業化を進めていく。			アグリチャレンジ支援事業による新商品開発件数（件） 40%ライン (40.8) <table><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>36</td></tr><tr><td>R2</td><td>40</td></tr><tr><td>R3</td><td>40</td></tr><tr><td>R6</td><td>48</td></tr></tbody></table>			年度	件数	H30	36	R2	40	R3	40	R6
年度	件数													
H30	36													
R2	40													
R3	40													
R6	48													

●基本目標の総括

「順調に推移」：4指標 「努力が必要」：8指標 「一」：2指標

「安定した雇用を創出する(基本目標1)」においては、数値目標である「年間有効求人倍率」が目標値を大きく上回る結果となったが、他の数値目標やKPIで「努力が必要」とされるものが約6割であることから、引き続き、安定した雇用の確保と市民所得向上のため、経済情勢に注視し、市内経済の実態把握に努め、各種取組を展開していく必要がある。

基本目標2 新しいひと・資金の流れをつくる（ひと）

- ・国の総合戦略では、地方への新しいひとの流れをつくることを基本目標に掲げており、都市圏から地方圏への流入を期待しているが、人口の東京一極集中という現状の中、流れをつくりだすことは容易ではない。
- ・全国的な知名度や豊かな自然環境に支えられた産業や歴史、風土の特性を活かし、地方への移住に興味・関心を持つ方へアプローチを行うとともに、移住に関する相談・支援体制に取り組む。
- ・また、「観光都市」としての強みを活かし、国内外から新たな人を呼び込み、再び訪れたいと思えるような、おもてなしが行き届いた魅力的な都市の実現を目指す。

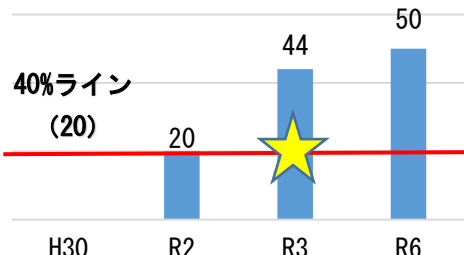
●数値目標の進捗内容

数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
社会動態 (転入－転出)	▲236 人 (H30.1～12)	▲42 人 (R3.1～12)	▲100 人 (R6.1～12)	142.6%	企画調整課									
《現状または課題》 目標を達成しているが、首都圏等への転出者数は多く、本市への定住者数をさらに増やしていく取組を進めていく必要がある現状。 《目標達成に向けた取組》 市の魅力を市内外にPRしていくことや移住・定住、雇用、子育て等の補助・支援に関する取組を重点的に進めていく。			社会動態（転入－転出）（人） <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>-236</td></tr><tr><td>R2</td><td>-181</td></tr><tr><td>R3</td><td>-42</td></tr><tr><td>R6</td><td>-100</td></tr></tbody></table> 40%ライン (-181.6)			年度	数値	H30	-236	R2	-181	R3	-42	R6
年度	数値													
H30	-236													
R2	-181													
R3	-42													
R6	-100													
数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
市内観光客入込数	186 万人	99.1 万人	225 万人	▲222.8%	観光交流課									
《現状または課題》 新型コロナウイルス感染症は未だ収束の見通しが立たず、集客型のイベントの実施は難しい状況が続き、新しい形の観光誘客施策の展開をしていくことが課題。 《目標達成に向けた取組》 これまでに中止となったイベント等について、感染対策を徹底して実施に向け検討するとともに、新しい形の観光誘客施策についても検討していく。			市内観光客入込数（万人） <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>186</td></tr><tr><td>R2</td><td>95.9</td></tr><tr><td>R3</td><td>99.1</td></tr><tr><td>R6</td><td>225</td></tr></tbody></table> 40%ライン (201.6)			年度	数値	H30	186	R2	95.9	R3	99.1	R6
年度	数値													
H30	186													
R2	95.9													
R3	99.1													
R6	225													

● K P I の進捗内容

基本的方向(1) 市外への流出を抑制し、定住を促進する

具体的施策① 市内定住の促進

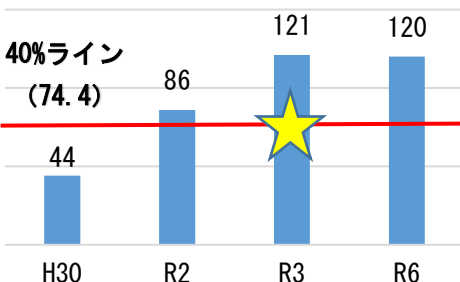
K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
多世代同居住宅取得支援事業の活用による若者等の市内定住世帯数（累計）	—	44 世帯	50 世帯	88.0%	地域振興課
《現状または課題》 多世代同居を目的とした市内での住宅（新築、中古）取得者に対する補助を行うとともに、市広報やホームページ、SNS 等で周知をしたことで目標値に近い世帯数まで増加し、若者等の着実な定住につながっている現状。			多世代同居住居取得支援事業の活用による若者等の市内定住世帯数（世帯） 		
《目標達成に向けた取組》 今後も市ホームページ等により制度の周知に努め、多世代での市内定住を促進していく。					

具体的施策② 若年層の市内定着の促進

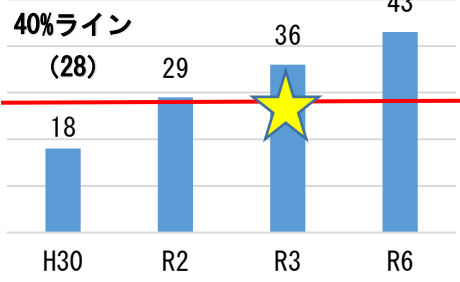
K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
奨学金の返還支援件数 (累計)	17 件	29 件	35 件	66.7%	商工課									
《現状または課題》 奨学金償還支援を受ける権利があるうちに制度の情報が伝わっていないため、認定を受ける前に就職をしてしまうなど、制度が十分に活かされていない現状。 《目標達成に向けた取組》 市広報での周知を継続するとともに、市内事業所から新規就業者へ就業前に情報を提供いただけるよう積極的な呼びかけを行っていく。			奨学金の返還支援件数（件） <table><caption>奨学金の返還支援件数（件）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>17</td></tr><tr><td>R2</td><td>23</td></tr><tr><td>R3</td><td>29</td></tr><tr><td>R6</td><td>35</td></tr></tbody></table>			年度	件数	H30	17	R2	23	R3	29	R6
年度	件数													
H30	17													
R2	23													
R3	29													
R6	35													
K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
喜多方准看護高等専修学校 卒業生の市内医療機関就職率	50.0%	37.5%	65.0%	▲83.3%	保健課									
《現状または課題》 就職率の向上のみならず、入学生が減少しているため、入学生を増やすことが課題。 《目標達成に向けた取組》 看護職就学・就労支援事業に加え、新たに喜多方市医師・看護師確保事業を実施し、入学生の確保・市内医療機関への就職を促していく。			喜多方准看護高等専修学校卒業生の市内医療機関就職率（%） <table><caption>喜多方准看護高等専修学校卒業生の市内医療機関就職率（%）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>就職率（%）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>50.0</td></tr><tr><td>R2</td><td>33.3</td></tr><tr><td>R3</td><td>37.5</td></tr><tr><td>R6</td><td>65.0</td></tr></tbody></table>			年度	就職率（%）	H30	50.0	R2	33.3	R3	37.5	R6
年度	就職率（%）													
H30	50.0													
R2	33.3													
R3	37.5													
R6	65.0													

基本的方向(2) 企業誘致を推進するとともに、商工業の経営環境や競争力を強化し、生産性・収益性を高める

具体的施策① 相談・支援体制の強化による本市への移住の促進

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
移住相談窓口を通じた県外からのU I Jターン者数 (累計)	44 人	121 人	120 人	101.3%	地域振興課									
《現状または課題》 目標値を達成する等、順調なU I Jターン実績となっており、実績数をさらに増やしていくためには、仕事環境の整備が課題。 《目標達成に向けた取組》 テレワークといった新たな仕事環境を整備する等、変化する社会ニーズに対応した施策の展開を図っていく。			移住相談窓口を通じた県外からのUIJターン者数（人）  <table><caption>移住相談窓口を通じた県外からのUIJターン者数（人）</caption><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr><tr><td>H30</td><td>44</td></tr><tr><td>R2</td><td>86</td></tr><tr><td>R3</td><td>121</td></tr><tr><td>R6</td><td>120</td></tr></table>			年度	数値	H30	44	R2	86	R3	121	R6
年度	数値													
H30	44													
R2	86													
R3	121													
R6	120													

具体的施策② 移住者に対する住まいや仕事の支援

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
空き店舗を活用した 新規起業・創業件数 (累計)	18 件	36 件	43 件	72.0%	商工課									
《現状または課題》 県と共同による中心市街地商業活性化事業などにより、空き店舗を活用した起業・開業を支援した。店舗と住宅が一体となった物件が多く、活用希望者とのマッチングがあまり進んでいない現状。 《目標達成に向けた取組》 商工団体や商店街と連携しながら、所有者との交渉、制度の充実などにより、空き店舗の活用を推進していく。			空き店舗を活用した 新規起業・創業件数（件）  <table><caption>空き店舗を活用した新規起業・創業件数（件）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>18</td></tr><tr><td>R2</td><td>29</td></tr><tr><td>R3</td><td>36</td></tr><tr><td>R6</td><td>43</td></tr></tbody></table>			年度	数値	H30	18	R2	29	R3	36	R6
年度	数値													
H30	18													
R2	29													
R3	36													
R6	43													

基本的方向(3) 魅力的な観光エリアづくりによる交流人口を増加させる
 具体的施策① 観光資源の発掘・磨き上げとネットワーク化

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
市内宿泊者数	63,732 人	41,552 人	70,800 人	▲313.8%	観光交流課									
《現状または課題》 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実績値が目標値を大幅に下回り、今後どう回復させていくかが課題。 《目標達成に向けた取組》 本市観光の最大の課題である滞在時間の延伸と観光消費額の増加には、宿泊観光の推進が欠かせない取組であり、日本酒や食などを活用し、宿泊施設、地域商店街、飲食店等と連携した取組を促進していく。			市内宿泊者数（人） 40%ライン (66,559.2) <table><thead><tr><th>年度</th><th>市内宿泊者数（人）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>63,732</td></tr><tr><td>R2</td><td>42,336</td></tr><tr><td>R3</td><td>41,552</td></tr><tr><td>R6</td><td>70,800</td></tr></tbody></table>			年度	市内宿泊者数（人）	H30	63,732	R2	42,336	R3	41,552	R6
年度	市内宿泊者数（人）													
H30	63,732													
R2	42,336													
R3	41,552													
R6	70,800													

具体的施策② グリーン・ツーリズムの一層の推進と広域連携の強化

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
グリーン・ツーリズム 交流人口	6, 256 人	783 人	12, 700 人	▲84. 9%	観光交流課									
《現状または課題》 コロナ禍で減少した交流人口の回復、農業・農泊体験の受入れ農家の掘り起こしが課題。 《目標達成に向けた取組》 アフターコロナに向け、教育旅行の更なる推進と農業・農泊体験の受入体制の充実を図っていく。			グリーン・ツーリズム交流 人口（人） <table><thead><tr><th>年度</th><th>交流人口（人）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>6,256</td></tr><tr><td>R2</td><td>83</td></tr><tr><td>R3</td><td>783</td></tr><tr><td>R6</td><td>12,700</td></tr></tbody></table> 40%ライン (8, 833. 6)			年度	交流人口（人）	H30	6,256	R2	83	R3	783	R6
年度	交流人口（人）													
H30	6,256													
R2	83													
R3	783													
R6	12,700													

具体的施策③ インバウンド対策の強化

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名									
外国人観光客数	1,089 人	0 人	8,000 人	▲15.8%	観 光 交 流 課									
《現状または課題》 コロナ禍において、外国人観光客の入り込みは当面見込めない中、受入体制の整備と機運醸成に向けた取組が必要である現状。 《目標達成に向けた取組》 アフターコロナのインバウンド需要の回復に向け、ホームページやメニューにおける外国語表記や現地広告代理店による旅行博出展等を行っていく。			外国人観光客（人） <table><thead><tr><th>年度</th><th>外国人観光客（人）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>1,089</td></tr><tr><td>R2</td><td>118</td></tr><tr><td>R3</td><td>0</td></tr><tr><td>R6</td><td>8,000</td></tr></tbody></table> 40%ライン (3,853.4)			年度	外国人観光客（人）	H30	1,089	R2	118	R3	0	R6
年度	外国人観光客（人）													
H30	1,089													
R2	118													
R3	0													
R6	8,000													

基本的方向(4) 関係人口の創出拡大や民間資金の還流を図る
 具体的施策① 多様な関わりを持つ人々との継続的な交流促進

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名									
民間企業等との連携協定等 の締結数（累計）	53 件	71 件	60 件	257.1%	企 画 調 整 課									
《現状または課題》 民間企業が社会貢献活動の一環として、自治体と連携協定を進める動きが加速しており、双方にとってメリットがある内容にしていくための協議が必要である現状。			民間企業等との連携協定等の 締結数（件） 40%ライン (55.8) <table><thead><tr><th>年度</th><th>締結数(件)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>53</td></tr><tr><td>R2</td><td>69</td></tr><tr><td>R3</td><td>71</td></tr><tr><td>R6</td><td>60</td></tr></tbody></table>			年度	締結数(件)	H30	53	R2	69	R3	71	R6
年度	締結数(件)													
H30	53													
R2	69													
R3	71													
R6	60													
《目標達成に向けた取組》 件数を増やすだけでなく、地域の活性化や市民サービスのより一層の向上に繋がる活動になるよう、各課へ有効活用を促していく。														

具体的施策② 企業や個人による寄附・投資等による資金の流れの強化

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名										
ふるさと納税金額	2, 608 万円	10, 270 万円	3, 200 万円	1294. 3%	企 画 調 整 課										
《現状または課題》 低額寄附者が多く返礼品の送料負担が大きいことから、寄附額設定の見直しが必要であることや寄附者に応援してもらえるような効果的なPRが必要である現状。			ふるさと納税金額（万円） <table><caption>ふるさと納税金額(万円)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>金額(万円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>2,608</td></tr><tr><td>R2</td><td>6,717</td></tr><tr><td>R3</td><td>10,270</td></tr><tr><td>R6</td><td>3,200</td></tr></tbody></table>			年度	金額(万円)	H30	2,608	R2	6,717	R3	10,270	R6	3,200
年度	金額(万円)														
H30	2,608														
R2	6,717														
R3	10,270														
R6	3,200														
《目標達成に向けた取組》 令和4年度より、新たなウェブサイト「さとふる」による募集を開始するとともに、寄附額単価を上げた魅力的な商品開発や効果的なPRを図っていく。															

●基本目標の総括

「順調に推移」: 7指標 「努力が必要」: 5指標 (「ー」: なし)

「新しいひと・資金の流れをつくる(基本目標2)」においては、数値目標の「社会動態(転入ー転出)」では新型コロナウイルス感染症の影響もある中で進捗が見られ、また、ふるさと納税金額の増加や移住・定住の促進に進捗が見られることから、更なる促進を目指して力を入れていく。観光面では、交流人口を増加させるため、魅力的な観光エリアづくりを進めていき、誘客効果を高める取組を進めていく。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（ひと）

- ・少子化が進行する中、異性と出会い、結婚し、子どもを持ちたいと思う人の希望をかなえるとともに、子どもを安心して産み育てることができる環境の整備が不可欠である。
- ・未婚者に対する支援策や母子保健の充実を図りながら、保育所や認定こども園等の受け入れ体制の整備に努めるとともに、関係機関との連携を図り、地域が一体となった環境の充実に努める。

●数値目標の進捗内容

数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名							
合計特殊出生率	1.41	令和5年3月 確定予定	1.9	—	企画調整課							
≪現状または課題≫ 出生数の低下は本市のみならず全国的にも顕著であり、今後も子どもを安心して産み育てることができる環境づくりに向けた取組を進めていく必要がある現状。 ≪目標達成に向けた取組≫ 子育て環境の充実等に関する取組を進めていくとともに、国勢調査の結果を踏まえ、実態に合わせた長期人口ビジョンの見直しについて検討していく。			合計特殊出生率 40%ライン (1.60) <table><thead><tr><th>年度</th><th>合計特殊出生率</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>1.41</td></tr><tr><td>R2</td><td>1.19</td></tr><tr><td>R6</td><td>1.9</td></tr></tbody></table>			年度	合計特殊出生率	H30	1.41	R2	1.19	R6
年度	合計特殊出生率											
H30	1.41											
R2	1.19											
R6	1.9											

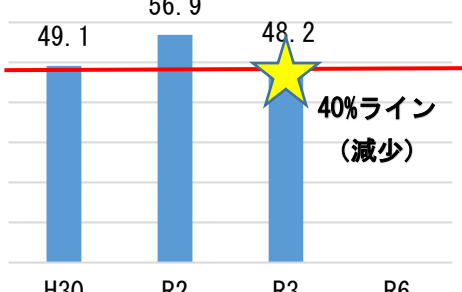
●KPIの進捗内容

基本的方向(1) 出会いから結婚・妊娠・出産・子どもの健やかな成長における切れ目のない支援を行う

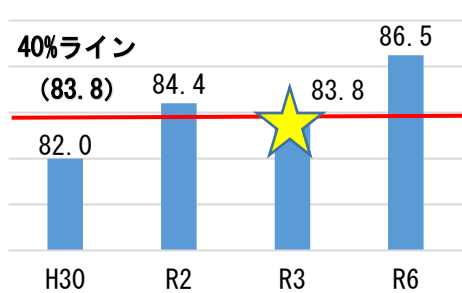
具体的施策① 結婚・妊娠・出産を希望している人々に対する支援

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
出会い・婚活イベント 参加者数	75人	—	75人	—	こども課									
≪現状または課題≫ コロナ禍で大人数でのイベント開催が難しい中、結婚希望の市民に対し、どのような形式で開催していくかが課題。 ≪目標達成に向けた取組≫ 新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえながら、少人数での開催を行っていく。			出会い・婚活イベント 参加者数（人） <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>参加者数（人）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>75</td></tr><tr><td>R2</td><td>75</td></tr><tr><td>R3</td><td>75</td></tr><tr><td>R6</td><td>75</td></tr></tbody></table> 40%ライン (75) H30 R2 R3 R6			年度	参加者数（人）	H30	75	R2	75	R3	75	R6
年度	参加者数（人）													
H30	75													
R2	75													
R3	75													
R6	75													

※新型コロナウイルス感染症の影響により婚活イベントが未実施のため、令和3年度の実績値は「—」。

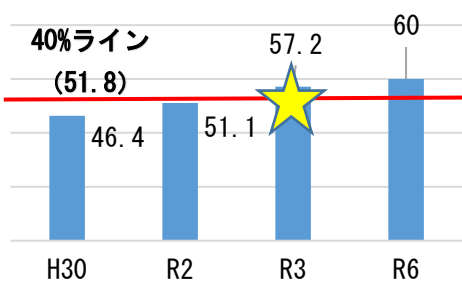
K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名									
妊婦一般健康診査（後期） 所見あり妊婦の割合	49.1%	48.2	減少	100.0%	保 健 課 ・ 社 会 福 祉 課									
《現状または課題》 有所見者の中でも貧血の割合が高く、どの時期に、どんな内容で指導するかが課題。 《目標達成に向けた取組》 主な所見が、貧血であるため、妊婦の貧血既往を確認し、早期の個別の保健指導を行い、妊娠中期で全妊婦への貧血予防のチラシを配り指導につなげていく。			妊婦一般健康診査（後期） 所見あり妊婦の割合（％）  <table><thead><tr><th>年度</th><th>割合（％）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>49.1</td></tr><tr><td>R2</td><td>56.9</td></tr><tr><td>R3</td><td>48.2</td></tr><tr><td>R6</td><td>40.0</td></tr></tbody></table>			年度	割合（％）	H30	49.1	R2	56.9	R3	48.2	R6
年度	割合（％）													
H30	49.1													
R2	56.9													
R3	48.2													
R6	40.0													

具体的施策② 子どもの健やかな成長のための支援

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
3歳児のう歯のない 子どもの割合	82.0%	83.8%	86.5%	40.0%	保健課
《現状または課題》 妊娠期から始まる歯と口腔の健康づくり事業を実施し、歯科保健行動の定着を図っているが、コロナ禍で家庭内で過ごすことが多い環境の変化や歯科健診の受診控え等で、割合は横ばいになっている現状。			3歳児のう歯のない子どもの割合（％） 		
《目標達成に向けた取組》 コロナ禍であっても個別指導を中心に引き続き事業を実施し、歯科保健行動の定着を図っていく。					

基本的方向(2) 安心して子育てができる環境をつくる

具体的施策① 親子を中心に様々な世代が交流できる場の整備

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
公園や広場の整備に関する 満足度	46.4 点	57.2 点	60 点	79.4%	企画調整課									
《現状または課題》 満足度が増えている一方で、「老朽化した遊具の修繕してほしい」「親子で遊べる公園や広場を整備してほしい」等の意見が多く出ている現状。 《目標達成に向けた取組》 意見等を含むアンケート結果は各所属へ送付し、課題認識の共有を図っているため、今後も市の事業等へ反映させていく。			公園や広場の整備に関する 満足度（点）  <table><thead><tr><th>年度</th><th>満足度（点）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>46.4</td></tr><tr><td>R2</td><td>51.1</td></tr><tr><td>R3</td><td>57.2</td></tr><tr><td>R6</td><td>60</td></tr></tbody></table>			年度	満足度（点）	H30	46.4	R2	51.1	R3	57.2	R6
年度	満足度（点）													
H30	46.4													
R2	51.1													
R3	57.2													
R6	60													

具体的施策② 子育て世代への支援

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名
待機児童数	0人	0人	0人	100.0%	こども課
《現状または課題》 令和3年度の実績値は「0」であるが、保育の際に配慮が必要な児童が増えているため、受入態勢を整備（人材の確保等）していくことが課題。 《目標達成に向けた取組》 引き続き、人材の確保に取り組むほか、令和5年度中に閉園する施設があるため、長期人口ビジョンを踏まえた保育施設の在り方について検討していく。			待機児童数（人） 0 1 0 0 H30 R2 R3 R6		

具体的施策③ 親子が安心して健やかに過ごせるための支援

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名									
市内医療機関の数	23 機関	21 機関	現状維持 (23 機関)	—	保 健 課									
《現状または課題》 医師や看護師等医療従事者の確保や高齢化の進む中山間地域に対する医療の確保が課題。 《目標達成に向けた取組》 引き続き、喜多方医師会等と地域医療の確保に向けた協議を行うとともに、新たに喜多方市医師・看護師確保事業を実施していく。			市内医療機関の数（機関） 40%ライン （現状維持（23）） <table><thead><tr><th>年度</th><th>数（機関）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>23</td></tr><tr><td>R2</td><td>22</td></tr><tr><td>R3</td><td>21</td></tr><tr><td>R6</td><td>23</td></tr></tbody></table>			年度	数（機関）	H30	23	R2	22	R3	21	R6
年度	数（機関）													
H30	23													
R2	22													
R3	21													
R6	23													

●基本目標の総括

「順調に推移」：4 指標 「努力が必要」：なし （「—」：3 指標）

「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（基本目標3）」においては、数値目標の「合計特殊出生率」の実績が出ていない状況ではあるが、本市のみならず全国的にも出生数の減少が見受けられ、今後も子育て支援制度の充実に加え、安心して子育てのできる環境づくりに力を入れていく。

基本目標 4 安心なくらしを守るとともに、周辺地域や民間との連携を図る（まち）

- ・ 行政に頼るだけでなく、自助・共助を高め地域全体で防災・減災対策や、市民の身近な移動手段である公共交通の維持・確保のほか、雪害対策、空き家対策等によるまちの活性化を図る必要がある。
- ・ 市民の健康を守るため、予防医療体制の整備を図るほか、生活支援や相談体制などを充実させ、企業やNPO、市民など、地域に関わる一人ひとりが地域の担い手として自ら積極的に参画できよう、地域づくり活動や地域コミュニティ活動への支援を進める。

●数値目標の進捗内容

数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名																			
お達者度： 65歳以上を過ぎて要介護2以上にならず健康的にすごせる平均的な期間	男性：17.02年 女性：20.88年	男性：17.15年 女性：20.69年	男性：17.92年 女性：20.94年	▲151.1%	保健課																			
《現状または課題》 健康寿命（お達者度）の延伸においては、特定健診等を契機として、自己の健康管理と健康づくりに取り組む支援体制の強化をしていくことが必要である。 また、高齢者が加入する医療保険は75歳になると後期高齢者医療へ切り替わり、74歳までの保健事業で得られた情報等が75歳以降の保健事業へ適切に連携されておらず、継続的な支援が困難なため包括的に支援が受けられるよう体制整備が必要である現状。 《目標達成に向けた取組》 健康の維持と健康寿命の延伸のため、特定健康診査やがん検診を通して、生活習慣病の発症予防と改善・重症化予防対策に取り組んでいく。 また高齢者の多様な心身の課題に対してきめ細やかで切れ目のない包括的な支援が受けられるよう生活習慣病対策・フレイル対策としての保健事業と介護予防を一体的に取り組んでいく。			お達者度：65歳以上を過ぎて要介護2以上にならず健康的にすごせる平均的な期間（年）男性 <table border="1"><caption>男性データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>17.02</td></tr><tr><td>R2</td><td>17.38</td></tr><tr><td>R3</td><td>17.15</td></tr><tr><td>R6</td><td>17.92</td></tr></tbody></table> お達者度：65歳以上を過ぎて要介護2以上にならず健康的にすごせる平均的な期間（年）女性 <table border="1"><caption>女性データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>20.88</td></tr><tr><td>R2</td><td>20.90</td></tr><tr><td>R3</td><td>20.69</td></tr><tr><td>R6</td><td>20.94</td></tr></tbody></table>			年度	値	H30	17.02	R2	17.38	R3	17.15	R6	17.92	年度	値	H30	20.88	R2	20.90	R3	20.69	R6
年度	値																							
H30	17.02																							
R2	17.38																							
R3	17.15																							
R6	17.92																							
年度	値																							
H30	20.88																							
R2	20.90																							
R3	20.69																							
R6	20.94																							

※本KPIは3年毎に福島県で公表している数値によるもの。

● K P I の進捗内容

基本的方向(1) 安全・安心な地域社会をつくる

具体的施策① 防災・減災対策の推進

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名									
自主防災組織結成率	25. 7%	30. 5%	36. 7%	43. 6%	危機 管理 課									
「現状または課題」 自主防災組織結成率は目標値に向けて順調に増加している状況であるが、今後防災・減災の役割を十分発揮するためには活動内容の充実が必要である現状。 「目標達成に向けた取組」 今後は自主防災組織の必要性について周知していくほか、説明する機会を増やしていく。			自主防災組織結成率 (%) <table><thead><tr><th>年度</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>25. 7</td></tr><tr><td>R2</td><td>28. 6</td></tr><tr><td>R3</td><td>30. 5</td></tr><tr><td>R6</td><td>36. 7</td></tr></tbody></table>			年度	値	H30	25. 7	R2	28. 6	R3	30. 5	R6
年度	値													
H30	25. 7													
R2	28. 6													
R3	30. 5													
R6	36. 7													

具体的施策② 生活交通ネットワークの維持

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
デマンドバスの利用者数 (1日あたり)	98 人	104 人	202 人	5.8%	地域振興課									
《現状または課題》 予約受付から配車までの一連のデマンド交通システムがアナログ式であり、また、サービス対象エリアが他の自治体に比べて特に広大であることから、利便性の向上などの利用者ニーズへの対応に限界がある現状。 《目標達成に向けた取組》 A I オンデマンド交通システムの新規導入等の施策を展開していく。			デマンドバスの利用者数 (1日あたり) (人) <table><thead><tr><th>年度</th><th>利用者数 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>98</td></tr><tr><td>R2</td><td>102</td></tr><tr><td>R3</td><td>104</td></tr><tr><td>R6</td><td>202</td></tr></tbody></table>			年度	利用者数 (人)	H30	98	R2	102	R3	104	R6
年度	利用者数 (人)													
H30	98													
R2	102													
R3	104													
R6	202													
K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
公共交通利用者数 (1日あたり)	283 人	236 人	360 人	▲61.0%	地域振興課									
《現状または課題》 利用者ニーズに合っていないことや自家用車への依存が高いことなどの要因により、公共交通の利用が少なく、減少傾向に歯止めがかからない。また、公共交通を支える市の負担が大きく、現状のままでは維持・確保が困難な現状。 《目標達成に向けた取組》 移動手段の維持、確保や利便性向上につながる各種施策を実施していく。			公共交通利用者数 (1日あたり) (人) <table><thead><tr><th>年度</th><th>利用者数 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>283</td></tr><tr><td>R2</td><td>252</td></tr><tr><td>R3</td><td>236</td></tr><tr><td>R6</td><td>360</td></tr></tbody></table>			年度	利用者数 (人)	H30	283	R2	252	R3	236	R6
年度	利用者数 (人)													
H30	283													
R2	252													
R3	236													
R6	360													

具体的施策③ 空き家対策の推進

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名									
危険空き家等の解体 撤去件数（累計）	50 件	142 件	120 件	131.4%	都 市 整 備 課									
《現状または課題》 空き家の適正管理に関する社会的意識の醸成や特定空き家等の解体促進をしていくことが課題。 《目標達成に向けた取組》 課題解決に向けた事業手法を確立し、補助制度の利用状況等を検証しつつ、効果的な支援が図られるよう、必要に応じ制度の見直しを行っていく。			危険空き家等の解体撤去件数 (件) <table><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>50</td></tr><tr><td>R2</td><td>116</td></tr><tr><td>R3</td><td>142</td></tr><tr><td>R6</td><td>120</td></tr></tbody></table>			年度	件数	H30	50	R2	116	R3	142	R6
年度	件数													
H30	50													
R2	116													
R3	142													
R6	120													

基本的方向(2) 市民の健康づくりを強化する

具体的施策① 運動の習慣づけによる健康づくりの促進

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名
軽く汗をかく1回30分以上の運動を週2回以上、1年以上続けている市民（壮年期）の割合	男性：32.0% 女性：21.3%	男性：27.5% 女性：21.3%	男性：36.0% 女性：33.0%	▲56.3%	保健課
《現状または課題》 運動の習慣づけや健康診査の実施、保健指導などを行っているが、割合は減少傾向にある現状。 《目標達成に向けた取組》 市民が楽しみながら運動習慣の定着や動機づけが図られるよう、健康ポイント事業を継続し、啓発活動を積極的に行っていく。			軽く汗をかく1回30分以上の運動を週2回以上、1年以上続けている市民（壮年期）の割合（%）男性 40%ライン (33.6) 軽く汗をかく1回30分以上の運動を週2回以上、1年以上続けている市民（壮年期）の割合（%）女性 40%ライン (26.0)		

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
スポーツイベント及び スポーツ教室等の参加者数	14,730人	5,746人	15,900人	▲767.9%	生涯学習課									
《現状または課題》 新型コロナウイルス感染症拡大により、イベント参加者の安全確保が困難な状態となっている現状。 《目標達成に向けた取組》 コロナ禍でのイベントを可能にするため、感染症対策を講じた実施やオンライン参加（オクトーバーラン&ウォーク等）による実施を行っていく。			スポーツイベント及び スポーツ教室等の参加者数 (人) <table><caption>参加者数 (人)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>参加者数 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>14,730</td></tr><tr><td>R2</td><td>5,595</td></tr><tr><td>R3</td><td>5,746</td></tr><tr><td>R6</td><td>15,900</td></tr></tbody></table> 40%ライン (15,198)			年度	参加者数 (人)	H30	14,730	R2	5,595	R3	5,746	R6
年度	参加者数 (人)													
H30	14,730													
R2	5,595													
R3	5,746													
R6	15,900													

具体的施策② 健康意識の向上と予防医療体制の強化

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
メタボリックシンドローム 該当者及び予備群の減少率 (人数)	▲19.6% (2,701人)	令和4年11月 確定予定	▲25.0% (2,519人)	—	保健課									
《現状または課題》 内臓脂肪の蓄積（腹囲・BMI）は、生活習慣病の発症、重症化のリスクが高くなるため、健診結果から必要に応じ、受診勧奨や生活習慣の改善等の保健指導の強化が必要である現状。 《目標達成に向けた取組》 メタボ該当者および予備群の減少に向け、効果的な個別保健指導の取組を継続していく。			メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率(%) <table><tr><th>年度</th><th>減少率 (%)</th></tr><tr><td>H30</td><td>-19.6</td></tr><tr><td>R2</td><td>-8.8</td></tr><tr><td>R3</td><td></td></tr><tr><td>R6</td><td>-25.0</td></tr></table> 40%ライン (-22.0)			年度	減少率 (%)	H30	-19.6	R2	-8.8	R3		R6
年度	減少率 (%)													
H30	-19.6													
R2	-8.8													
R3														
R6	-25.0													

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
特定健診受診者で高血圧Ⅱ度（収縮期血圧 160 又は拡張期血圧 100）以上の割合	4.8%	5.3%	3.5%	▲38.5%	保健課									
《現状または課題》 高血圧は、脳血管疾患や腎機能低下の原因になることから、高血圧の重症化を予防することが課題。 《目標達成に向けた取組》 特定健診結果により、医療機関受診勧奨や重症化予防のための効果的な保健指導を引き続き実施していく。			特定健診受診者で高血圧Ⅱ度（収縮期血圧160又は拡張期血圧100）以上の割合 (%) <table><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr><tr><td>H30</td><td>4.8</td></tr><tr><td>R2</td><td>4.0</td></tr><tr><td>R3</td><td>5.3</td></tr><tr><td>R6</td><td>3.5</td></tr></table> 40%ライン (4.3)			年度	割合 (%)	H30	4.8	R2	4.0	R3	5.3	R6
年度	割合 (%)													
H30	4.8													
R2	4.0													
R3	5.3													
R6	3.5													

具体的施策③ 地域包括ケアシステムの構築による介護・医療体制の充実・強化

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
いきいき高齢者の割合	79.7%	81.9%	83.0%	66.7%	社会福祉課・高齢福祉課									
《現状または課題》 高齢化の進展により介護を要する高齢者の増加が見込まれ、医療介護職の人手不足が生じている現状。 《目標達成に向けた取組》 関係機関同士の連携を強化し、医療・介護・生活支援サービスの充実を図るとともに、要介護状態になることを少しでも遅らせる取り組みを進めていく。			いきいき高齢者の割合（％） <table><caption>いきいき高齢者の割合 (%)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>H30</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R6</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合 (%)</td><td>79.7</td><td>79.2</td><td>81.9</td><td>83.0</td></tr></tbody></table>			年度	H30	R2	R3	R6	割合 (%)	79.7	79.2	81.9
年度	H30	R2	R3	R6										
割合 (%)	79.7	79.2	81.9	83.0										

基本的方向(3) 地域のつながりを維持する

具体的施策① 市民が主役となった持続可能な地域づくり

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名									
ふるさと創生事業及び協働のまちづくり推進事業の採択件数（累計）	145 件	252 件	495 件	30. 6%	地 域 振 興 課									
《現状または課題》 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントの多くが自粛となったため、本補助金の活用件数も非常に少ない結果となった現状。 《目標達成に向けた取組》 今後さらに制度の周知や地域づくりの意識醸成を図り、事業を推進していく。			ふるさと創生事業及び協働のまちづくり推進事業の採択件数（件） <table><tr><td>40%ライン (285)</td><td>495</td></tr><tr><td>145</td><td>227</td><td>252</td><td>495</td></tr><tr><td>H30</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R6</td></tr></table>			40%ライン (285)	495	145	227	252	495	H30	R2	R3
40%ライン (285)	495													
145	227	252	495											
H30	R2	R3	R6											
K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課 名									
N P O法人組織数（団体）	23 団体	24 団体	28 団体	20. 0%	企 画 調 整 課									
《現状または課題》 N P O法人の組織数推移については横ばい状況が続いており、現在のコロナ禍で活動自粛や縮小している団体が多く見られる現状。 《目標達成に向けた取組》 市民活動支援センターに対し補助支援を行い機能強化を図るほか、組織数や活動の把握に努めていく。			N P O法人組織数（団体） <table><tr><td>40%ライン (25)</td><td>28</td></tr><tr><td>23</td><td>24</td><td>24</td><td>28</td></tr><tr><td>H30</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R6</td></tr></table>			40%ライン (25)	28	23	24	24	28	H30	R2	R3
40%ライン (25)	28													
23	24	24	28											
H30	R2	R3	R6											

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
生活支援支え合い会議 設置数	2 地区	9 地区	16 地区	50.0%	社会福祉課									
《現状または課題》 住民主体で地域性に合わせた取り組み内容としており、成果が見えにくい事業であることから、関係者間の意識統一が課題。 《目標達成に向けた取組》 生活支援コーディネーターを中心に、地域課題や人材の把握、関係機関とのネットワーク構築に努め、本事業の周知に取り組んでいく。			生活支援支え合い会議設置数 (地区) <table><caption>生活支援支え合い会議設置数 (地区)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>設置数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>2</td></tr><tr><td>R2</td><td>6</td></tr><tr><td>R3</td><td>9</td></tr><tr><td>R6</td><td>16</td></tr></tbody></table>			年度	設置数	H30	2	R2	6	R3	9	R6
年度	設置数													
H30	2													
R2	6													
R3	9													
R6	16													

具体的施策② NPOなどの地域づくりを担う組織や企業との連携

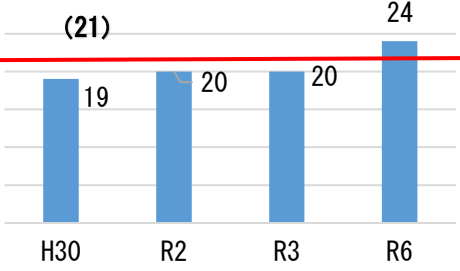
K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
協働のまちづくり推進事業 の活用による地域と市民活 動団体との連携数（累計）	—	2 件	5 件	40.0%	地 域 振 興 課									
《現状または課題》 こまがた元気会が「こまがた元気ビジョン」に基づい て具体的な地域づくり活動に着手したところであり、 これに続く新たな広域的住民組織の組成等を進めてい く必要がある現状。			協働のまちづくり推進事業の 活用による地域と市民活動団 体との連携数（件） <table><caption>協働のまちづくり推進事業の活用による地域と市民活動団体との連携数 (件)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>連携数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>0</td></tr><tr><td>R2</td><td>1</td></tr><tr><td>R3</td><td>2</td></tr><tr><td>R6</td><td>5</td></tr></tbody></table>			年度	連携数	H30	0	R2	1	R3	2	R6
年度	連携数													
H30	0													
R2	1													
R3	2													
R6	5													
《目標達成に向けた取組》 住民のさらなる意識醸成を行いながら、山都地区や高 郷地区等において新たな広域的住民組織の組成等に向 けた支援を行っていく。														

基本的方向(4) 人口減少・高齢化に対応した経済・生活圏を形成する

具体的施策① 企業間の広域連携に対する支援

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
広域連携活動への 参加企業数	14 社	12 社	20 社	▲33.3%	商 工 課									
《現状または課題》 新型コロナウイルス感染症の影響により会社訪問の機会が減少したことや、各種団体等への加入を見合わせている企業が見受けられる現状。			広域連携活動への参加企業数 (社)											
《目標達成に向けた取組》 会津産業ネットワークフォーラム（ANF）に加入することのメリットをPRしながら、機会あるごとに加入促進に努めていく。			40%ライン (16.2)											
			<table><thead><tr><th>年度</th><th>参加企業数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>14</td></tr><tr><td>R2</td><td>12</td></tr><tr><td>R3</td><td>12</td></tr><tr><td>R6</td><td>20</td></tr></tbody></table>		年度	参加企業数	H30	14	R2	12	R3	12	R6	20
年度	参加企業数													
H30	14													
R2	12													
R3	12													
R6	20													

具体的施策② 自治体における広域連携の推進

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名
定住自立圏共生ビジョン に掲げる具体的取組数	19 件	20 件	24 件	20.0%	企画調整課
《現状または課題》 3市町村で実施する取組に関して、既存内容の見直し や新たな取組内容を毎年度検討しており、人口減少・ 少子高齢化に対応した効果的な取組を見出すことが課 題。			定住自立圏共生ビジョンに掲 げる具体的取組数（件） 40%ライン (21) 		
《目標達成に向けた取組》 令和4年度から新たなビジョンが開始される見込みの ため、新規事業も含め、効果的な取組を検討してい く。					

●基本目標の総括

「順調に推移」：5指標 「努力が必要」：10指標 （「－」：1指標）

「安心なくらしを守るとともに、周辺地域や民間との連携を図る（基本目標4）」においては、数値目標の「お達者度：65歳以上を過ぎて要介護2以上にならず健康的にすごせる平均的な期間」やKPIの半数以上が「努力が必要」としていることから、企業やNPO、市民など、地域に関わる一人ひとりが地域の担い手として自ら積極的に参画できよう、地域づくり活動や地域コミュニティ活動への支援に取り組んでいく。

基本目標5 将来を担う多様な人材を育成・確保する（ひと）

- ・持続可能な地域社会づくりに向け、関係機関・団体と連携し、医療・介護・子育てといった市民の生活と密接にかかわる分野はもちろん、ものづくり分野における人材や、本市の歴史・風土・文化が育んできた伝統工芸などにおける担い手の育成・確保に取り組む。
- ・また、子どもたちが、単なる教科書の知識だけでなく、自らの足でしっかり立ち、変化に対応し力強く生きていく力をつけるとともに、将来の地域の担い手として地域に誇りと愛着を持てるような特色のある教育に取り組む。

●数値目標の進捗内容

数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名																							
将来の夢・目標を持っている児童生徒の割合	児童 (H31) 市 66.5% 国 65.9% 県 66.5% 生徒 (H31) 市 47.6% 国 44.9% 県 45.9%	児童 市 64.7% 国 60.2% 県 60.9% 生徒 市 52.0% 国 40.5% 県 43.3%	国・県を上回る	100.0%	学校教育課																							
《現状または課題》 設定時との比較において、国や県の割合が減少する中、本市の児童の割合はほぼ横ばい、生徒の割合は増加するなど、目標値を達成する結果となっている現状。 《目標達成に向けた取組》 喜多方っ子の「夢」実現事業を継続し、本市や本県ゆかりの児童生徒の心に響く講師を発掘していく。																												
将来の夢・目標を持っている児童生徒の割合（児童）（%） <table><thead><tr><th>年度</th><th>市</th><th>国</th><th>県</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>66.5</td><td>65.9</td><td>66.5</td></tr><tr><td>R2</td><td>64.7</td><td>60.2</td><td>60.9</td></tr></tbody></table> 将来の夢・目標を持っている児童生徒の割合（生徒）（%） <table><thead><tr><th>年度</th><th>市</th><th>国</th><th>県</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>47.6</td><td>44.9</td><td>45.9</td></tr><tr><td>R2</td><td>52.0</td><td>40.5</td><td>43.3</td></tr></tbody></table>						年度	市	国	県	H30	66.5	65.9	66.5	R2	64.7	60.2	60.9	年度	市	国	県	H30	47.6	44.9	45.9	R2	52.0	40.5
年度	市	国	県																									
H30	66.5	65.9	66.5																									
R2	64.7	60.2	60.9																									
年度	市	国	県																									
H30	47.6	44.9	45.9																									
R2	52.0	40.5	43.3																									

● K P I の進捗内容

基本的方向(1) 不足する人材の育成・確保と市内定着を促進する

具体的施策① 地方創生の基盤を支える人材の掘り起こし・育成・支援

K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
喜多方准看護高等専修学校 卒業生の市内医療機関就職率 【再掲】	50.0%	37.5%	65.0%	▲83.3%	保健課									
《現状または課題》 就職率の向上のみならず、入学生が減少しているため、入学生を増やすことが課題。 《目標達成に向けた取組》 看護職就学・就労支援事業に加え、新たに喜多方市医師・看護師確保事業を実施し、入学生の確保・市内医療機関への就職を促していく。			喜多方准看護高等専修学校卒業生の市内医療機関就職率 (%) <table><caption>喜多方准看護高等専修学校卒業生の市内医療機関就職率 (%)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>就職率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>50.0</td></tr><tr><td>R2</td><td>33.3</td></tr><tr><td>R3</td><td>37.5</td></tr><tr><td>R6</td><td>65.0</td></tr></tbody></table>			年度	就職率 (%)	H30	50.0	R2	33.3	R3	37.5	R6
年度	就職率 (%)													
H30	50.0													
R2	33.3													
R3	37.5													
R6	65.0													
K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
介護職員数	832 人	878 人	902 人	65.7%	高齢福祉課									
《現状または課題》 平成 30 年度から比較すると、介護職員数は大幅に増えたが、今後職員数を維持・増加できるかが課題。 《目標達成に向けた取組》 引き続き、介護職員養成・就労定着化事業を実施し、介護職員の養成・定着化を図っていく。			介護職員数 (人) <table><caption>介護職員数 (人)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>職員数 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>832</td></tr><tr><td>R2</td><td>887</td></tr><tr><td>R3</td><td>878</td></tr><tr><td>R6</td><td>902</td></tr></tbody></table>			年度	職員数 (人)	H30	832	R2	887	R3	878	R6
年度	職員数 (人)													
H30	832													
R2	887													
R3	878													
R6	902													
K P I	初期値 (H 3 0)	実績値 (R 3)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
市が主催するものづくり 関係イベントの参加者数 (累計)	1,321 人	1,445 人	3,500 人	5.7%	商工課									
《現状または課題》 令和 3 年度はものづくり関係イベントとして市内の児童・生徒を対象とした喜多方市発明展を開催したが、その他イベントは新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、参加者が少ない現状。 《目標達成に向けた取組》 コロナ禍の影響を含め、各種イベントの実施の際は参加しやすい日程等を考慮し、多くの子どもが興味を持てるような内容を検討していく。			市が主催するものづくり関係イベントの参加者数 (人) <table><caption>市が主催するものづくり関係イベントの参加者数 (人)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>参加者数 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>1,321</td></tr><tr><td>R2</td><td>1,431</td></tr><tr><td>R3</td><td>1,445</td></tr><tr><td>R6</td><td>3,500</td></tr></tbody></table>			年度	参加者数 (人)	H30	1,321	R2	1,431	R3	1,445	R6
年度	参加者数 (人)													
H30	1,321													
R2	1,431													
R3	1,445													
R6	3,500													

基本的方向(2) 将来を担う子どもたちの育成を強化する

具体的施策① 夢に向かい、変化する時代を生き抜く力を身につけるための教育

数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名																							
主体的・対話的で深い学びを実感している児童生徒の割合	児童 (H31) 市 39.6% 国 32.2% 県 30.3% 生徒 (H31) 市 20.9% 国 25.2% 県 28.3%	児童 市 39.2% 国 33.9% 県 34.8% 生徒 市 34.5% 国 33.0% 県 35.6%	国・県を上回る	50.0%	学校教育課																							
《現状または課題》 本市の生徒の割合が大きく伸びた状況であるが、校種間や教員間により、授業改善に向けた取組に温度差があることが課題。 《目標達成に向けた取組》 大学等と連携するなど、教員の授業力向上と授業改善に結びつくような研修会を計画し、実施していく。																												
主体的・対話的で深い学びを実感している児童生徒の割合（児童）（%） <table><caption>児童の割合 (%)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>市</th><th>国</th><th>県</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>39.6</td><td>32.2</td><td>30.3</td></tr><tr><td>R2</td><td>39.2</td><td>33.9</td><td>34.8</td></tr></tbody></table> 主体的・対話的で深い学びを実感している児童生徒の割合（生徒）（%） <table><caption>生徒の割合 (%)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>市</th><th>国</th><th>県</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>20.9</td><td>25.2</td><td>28.3</td></tr><tr><td>R2</td><td>34.5</td><td>33.0</td><td>35.6</td></tr></tbody></table>						年度	市	国	県	H30	39.6	32.2	30.3	R2	39.2	33.9	34.8	年度	市	国	県	H30	20.9	25.2	28.3	R2	34.5	33.0
年度	市	国	県																									
H30	39.6	32.2	30.3																									
R2	39.2	33.9	34.8																									
年度	市	国	県																									
H30	20.9	25.2	28.3																									
R2	34.5	33.0	35.6																									

具体的施策② 本市の歴史、風土、文化等に関する学びを通じた「喜多方人」の育成

K P I	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名
「喜多方人づくりの指針」 の保護者への認知割合	70.63%	77.02%	95.0%	26.2%	生涯学習課
《現状または課題》 多くの市民に人づくりの指針の浸透を図るためには、 継続した取組と、喜多方市人づくりの指針推進会議委員等の意見を参考にするなど、より有効な手法で指針の浸透を図っていくことが必要である現状。 《目標達成に向けた取組》 心豊かな生活を送ることができるよう、より有効な手法と継続した取組により指針の浸透を図っていく。			「喜多方人づくりの指針」の 保護者への認知割合 (%) 40%ライン (80.4) 95.0 70.63 76.69 77.02 H30 R2 R3 R6		

●基本目標の総括

「順調に推移」：3指標 「努力が必要」：3指標 （「－」：なし）

「将来を担う多様な人材を育成・確保する（基本目標5）」においては、数値目標の「将来の夢・目標を持っている児童生徒の割合」やKPIで「順調に推移」しているものが全体の半数である状況から、今後も将来を担う人材の育成・確保と市内定着に向けた取組に注力していく。

基本目標 6 将来を見据えた魅力的なまちをつくる（まち・ひと・しごと）

- ・将来にわたり、市民が安全・安心に生活し、まちの活力を維持するため、Society5.0 やSDGs といった新しい時代の流れを力にして地域の魅力を一層向上させるとともに、一人ひとりが地域の担い手として自ら積極的に参画し、誰もが活躍できる魅力的な地域社会の創造を目指す。

●数値目標の進捗内容

数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
行政サービス満足度・重要度アンケート調査結果のうち、満足度の平均	49.7 点	54.6 点	70 点	24.1%	企画調整課									
《現状または課題》 年々市の施策に対する意見が多くなってきている現状であり、今後この意見をどのように反映・解決していくかが課題。 《目標達成に向けた取組》 意見等を含むアンケート結果については、各所属へ送付し、課題認識等の共有を図っているため、魅力的な地域社会の形成に向けて取組んでいく。			行政サービス満足度・重要度アンケート調査結果のうち、満足度の平均（点） <table><caption>行政サービス満足度・重要度アンケート調査結果の平均（点）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>満足度の平均（点）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>49.7</td></tr><tr><td>R2</td><td>50.0</td></tr><tr><td>R3</td><td>54.6</td></tr><tr><td>R6</td><td>70</td></tr></tbody></table> 40%ライン (57.8)			年度	満足度の平均（点）	H30	49.7	R2	50.0	R3	54.6	R6
年度	満足度の平均（点）													
H30	49.7													
R2	50.0													
R3	54.6													
R6	70													

●KPIの進捗内容

基本的方向(1) 新たな時代の流れを力にする

具体的施策① Society5.0の実現に向けた技術の活用

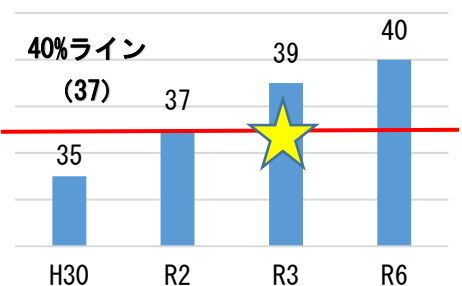
数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
オープンデータの公開数 (累計)	33 件	35 件	100 件	3.0%	情報政策課									
《現状または課題》 オープンデータの数は未だ少ない状況であり、目標値に向けて各課の更なる協力を必要としている現状。 《目標達成に向けた取組》 全国の先進自治体の取組事例を含め、各課へ更なる周知を図っていくとともに、様々な場面でのデータの活用を検討していく。			オープンデータの公開数 (件) <table><caption>オープンデータの公開数（件）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>公開数（件）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>33</td></tr><tr><td>R2</td><td>33</td></tr><tr><td>R3</td><td>35</td></tr><tr><td>R6</td><td>100</td></tr></tbody></table> 40%ライン (59.8)			年度	公開数（件）	H30	33	R2	33	R3	35	R6
年度	公開数（件）													
H30	33													
R2	33													
R3	35													
R6	100													

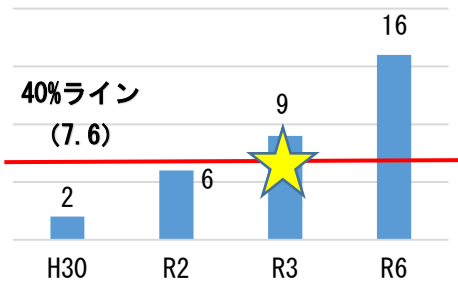
具体的施策② SDGs を原動力とした地方創生

数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
「SDGs」の認知度（行政サービス満足度アンケート調査結果による） ※「よく知っている」以上の割合	—	4.6%	50%	9.2%	企画調整課									
《現状または課題》 「SDGs」という名前については聞いたことがあるが、具体的な内容が認知されていないため、市民に対してどのように周知・啓発を行い、認知してもらうかが課題。 《目標達成に向けた取組》 SDGsの認知や理解が高まるよう、広報や市ホームページによる周知・啓発を図っていく。また、職員がSDGsの理解を深め、今後の普及啓発につなげていくため、引き続き、研修会を実施していく。			「SDGs」の認知度（行政サービス満足度アンケート調査結果による）（%） ※「よく知っている」以上の割合  <table><thead><tr><th>年度</th><th>認知率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>3.4</td></tr><tr><td>R2</td><td>3.4</td></tr><tr><td>R3</td><td>4.6</td></tr><tr><td>R6</td><td>50</td></tr></tbody></table>			年度	認知率 (%)	H30	3.4	R2	3.4	R3	4.6	R6
年度	認知率 (%)													
H30	3.4													
R2	3.4													
R3	4.6													
R6	50													

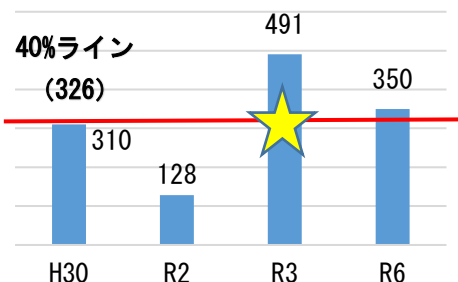
基本的方向(2) 誰もが活躍できる地域社会をつくる

具体的施策① 誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現

数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
高齢者いきいきサロンを 設置した地区数	35 地区	39 地区	40 地区	80.0%	高 齢 福 祉 課									
《現状または課題》 各地区の世話人の高齢化が進み、新規の参加者も増えていかないことから、運営が困難になってきているサロンも出てきている現状。 《目標達成に向けた取組》 世話人同士の交流の機会を増やし、各地区の情報共有を活発化することで、今後のサロン運営に反映させていく。			高齢者いきいきサロンを設置した地区数（地区）  <table><tr><th>年度</th><th>設置地区数 (地区)</th></tr><tr><td>H30</td><td>35</td></tr><tr><td>R2</td><td>37</td></tr><tr><td>R3</td><td>39</td></tr><tr><td>R6</td><td>40</td></tr></table>			年度	設置地区数 (地区)	H30	35	R2	37	R3	39	R6
年度	設置地区数 (地区)													
H30	35													
R2	37													
R3	39													
R6	40													

数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
生活支援支え合い会議 設置数【再掲】	2 地区	9 地区	16 地区	50.0%	社会福祉課									
《現状または課題》 住民主体で地域性に合わせた取り組み内容としており、成果が見えにくい事業であることから、関係者間の意識統一が課題。 《目標達成に向けた取組》 生活支援コーディネーターを中心に、地域課題や人材の把握、関係機関とのネットワーク構築に努め、本事業の周知に取り組んでいく。			生活支援支え合い会議 設置数（地区）  <table><caption>生活支援支え合い会議設置数（地区）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>設置数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>2</td></tr><tr><td>R2</td><td>6</td></tr><tr><td>R3</td><td>9</td></tr><tr><td>R6</td><td>16</td></tr></tbody></table>			年度	設置数	H30	2	R2	6	R3	9	R6
年度	設置数													
H30	2													
R2	6													
R3	9													
R6	16													

具体的施策② 外国人を受け入れやすい環境の整備と多文化共生の推進

数値目標	初期値 (H30)	実績値 (R3)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
国際交流活動参加者数	310 人	491 人	350 人	452.5%	企画調整課									
《現状または課題》 新型コロナウイルスの影響で受入・訪問が難しい状況であるが、一方でオンライン交流の機会も増えている現状。 《目標達成に向けた取組》 中国宿遷市との友好都市締結に向けて、調整を進めるとともに、会津喜多方国際交流協会と密接に連携して事業に取り組んでいく。			国際交流活動参加者数 (人)  <table><caption>国際交流活動参加者数（人）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>参加者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>310</td></tr><tr><td>R2</td><td>128</td></tr><tr><td>R3</td><td>491</td></tr><tr><td>R6</td><td>350</td></tr></tbody></table>			年度	参加者数	H30	310	R2	128	R3	491	R6
年度	参加者数													
H30	310													
R2	128													
R3	491													
R6	350													

●基本目標の総括

「順調に推移」：3 指標 「努力が必要」：3 指標 （「－」：なし）

「将来を見据えた魅力的なまちをつくる（基本目標6）」においては、数値目標の「行政サービス満足度・重要度アンケート調査結果のうち、満足度の平均」やその他のKPIで「努力が必要」とされるものが半数あることから、国や県の動向（デジタル化など）を視野に入れ、将来にわたり誰もが活躍できる地域社会を目指した取組を進めていく。